

「太陽光発電を後押し」

釧路で再生エネシンポ



再生可能エネルギーとま
ちづくりについて考えるシ
ンポジウムが釧路市の道教
大釧路校で開かれ、地域に
恩恵をもたらす発電の仕組
みをつくる大切さを話し合
った。

再生可能エネルギー普及
を目指す「くしろソーシャ
ルデザインネットワーク」
(KSDN)などが15日に
開き、約40人が参加した。

徳島県で再生エネルギー
を普及させる活動を行う徳
島地域エネルギーの豊岡和
美事務局長は「大手企業が
発電設備を手がけると地元
に収益が還元されにくい」
と指摘。県内外から寄付を

再生可能エネルギー普及につ
いて話し合ったシンポジウム

募って太陽光発電設備を設
置、寄付者に地域の特産品
を贈るなどした取り組みを
紹介し「自分たちでエネル
ギーをつくれるようになれ
ば地域を再生させることが
できる」と語った。

KSDNの荒井剛共同代
表は釧路は日射量が多く、
森林面積が広いことを強
調。鶴居村に太陽光パネル
を設置する活動を説明し
「釧路は再生可能エネルギ
ー資源の宝庫。太陽光発電
の設備を作る後押しをした
い」と述べた。(長谷川裕紀)